

## 【健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクト】健康スムージーを活用したまちなのにぎわいづくり事業

主担当課：健康福祉部 健康づくり課

NO	具体的な施策・事業	重要業績評価指標（KPI）	担当課	事業開始前	単位	基準年度	2017年度増加分	2018年度増加分	2019年度増加分	3カ年増加分	単位	目標値（2019年度）KPI増加分の累計	単位
1	新規就農者の樹園地の拡大	樹園地の拡大面積	農林課	0.0	ha	2017	1.30	0.9	1.44	3.64	ha	2.5（累計）	ha
2	移住による新規就農世帯数の増加	移住による新規就農世帯数	農林課	3	世帯	2017	1	3	4	8	世帯	6（累計）	世帯
3	スムージーを活用した新商品の開発推進支援	新商品開発数	健康づくり課	6	件	2017	2	5	3	10	件	7（累計）	件
4	新商品の取り扱い店舗の増加・商品の販路拡大の推進	取り扱い店舗数	健康づくり課	2	店舗	2017	4	17	5	26	店舗	11（累計）	店

※2017年度における指標No.1の増加分、2018年度における指標No.4の増加分について積算誤りが判明したため修正した。  
 指標No.1（2017年度）1.44ha→1.30ha、指標No.4（2018年度）15店舗→17店舗

各年度ごとの成果・課題等（KPIが達成できた理由、達成できなかった理由等）

### 【2017年度】

KPI①については、果樹栽培を主生計とする新規就農者が増えたため、樹園地面積の拡大につながった。

KPI②について、移住や就農を決断し、実際に移住に至るまでには相当程度の研修や体験期間が必要であるため、効果が出るまでには時間がかかる。新規就農世帯数については、見込みを下回り、就農（独立）まで至った世帯が1世帯に留まった。

KPI③については、オリジナルスムージーコンテストの開催、ホットスムージーの開発により、増加した。

KPI④について、「飲食店等働きかけ委託事業」として、信州SOHO支援協議会に飲食店舗への働きかけを委託し実施した。結果として取り扱い店舗が目標値を上回った。

### 【2018年度】

KPI①について、2017年度実績において、3ヶ年度分の目標値をほぼ達成したため、2018年度は目標値を上方修正し申請した。しかしながら見込みが甘くわずかに目標値まで至らなかった。

優良農地の確保が課題である。次年度は、新規に就農する方の要望を集積し、農地バンクの取り組み等を通じ、JAと密に連携を取りながら農地のマッチング事業を実施していく。

KPI②について、移住相談会等を通じ須坂市の周知に努め、目標を上回り達成できた。

KPI③について、新たにサラダスムージー等のレシピが開発されたため達成できた。

KPI④について、スムージーコンテスト、スムージーフェス等を通じ、飲食店等にスムージーに関する理解が進み、提供していただく店舗が目標値を上回り達成できた。

### 【2019年度】

KPI①について、新規就農者の要望等を集積し、農地バンク等取り組みを実施したことで、面積の拡大が図られた。

KPI②について、移住相談会等を通じ関東圏を中心に移住者が増加した。

KPI③について、新たにスムージーを活用した「スムージードレッシング」3種類を開発販売した。

KPI④について、昨年度から開催している「スムージーフェス」が広がりを見せ、新規飲食店のフェス参加店舗が増加した。